

02 会長就任・退任のごあいさつ 03 幸田町社会福祉協議会組織図、令和5年度役員会等開催報告

04・05 令和4年度事業報告および決算 06・07 中部地域包括支援センターだより 08・09 ふくしの広場

10 嘱託員・非常勤職員の募集、ご寄付紹介

「高齢者疑似体験サポーター養成講座」を開催します

高齢者疑似体験とは

高齢者疑似体験セットを装着することによって、視力や聴力などの感覚機能の低下や手足の関節の運動が制限され、加齢による身体機能の変化を学び、体験することができます。

高齢者疑似体験の技能を習得し、主に小中学校での福祉教育をサポートするスタッフを養成します。

と き 9月7日（木） 午後2時～4時

ところ 中央公民館 第2・第3会議室

内 容 高齢者疑似体験の講義および実技演習

対 象 町内在住または在勤者

定 員 15人 *先着順

講 師 高齢者疑似体験グループあじさい

町内の小中学校で実施される福祉実践教室の講師として活躍されています。

設立 平成18年 会員数 7人

参加費 無料

持ち物 筆記用具、動きやすい服装

*実技演習で高齢者疑似体験セットを装着しますので、長袖・長ズボンをご用意ください。

申込み 8月31日(木)までに幸田町社会福祉協議会へ電話(62-7171)または2次元コードでお申し込みください。



高齢者疑似体験セットを装着した体験の様子



活動の様子



▲ 2次元コードからの申し込みはこちら

会長就任のごあいさつ

幸田町社会福祉協議会 会長 天野 広子



向暑の折、皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、私は、6月23日付けをもちまして、幸田町社会福祉協議会会長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、皆さま方のご支援を賜りながら、精一杯取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

私が生きる上で大切にしている詩があります。それは、宮澤章二氏の『行為の意味』です。

—あなたの＜こころ＞はどんな形ですか
自分にも他人にも＜こころ＞は見えない けれど ほんとうに見えないのであろうか
確かに＜こころ＞はだれにも見えない けれど＜こころづかい＞は見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから
同じように胸の中の＜思い＞は見えない けれど＜思いやり＞はだれにでも見える
それも人に対する積極的な行為なのだから
(『行為の意味』より抜粋)

人は、一人では幸せになれません。互いの心づかいや思いやりがあって、初めて幸せになれると思います。
幸田町社会福祉協議会は、「支え合い ともに生きる まちづくり」を基本理念とした、「幸田町地域福祉活動計画」に沿って、福祉事業を進めています。地域の皆さまによる福祉活動を支援し、皆さまの立場になって共に福祉課題・生活課題の解決に向けて取り組んでおります。

全ての町民の皆さまと一層力を合わせて、互いに支え合い、一人ひとりが暮らしやすい「福祉のまちづくり」の実現を目指してまいります。

会長退任のごあいさつ

幸田町社会福祉協議会 前会長 神尾 義貴



盛夏の候、皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
私は6月23日をもちまして、任期満了により幸田町社会福祉協議会会長を退任いたしました。2期4年間、私どもが福祉事業を進めるにあたり、区長、民生委員・児童委員、ボランティア団体や福祉関係機関など、さまざまな人にお骨折りいただきました。深く感謝申し上げます。

任期中は新型コロナの蔓延があり、会長として十分な仕事はできなかったと思います。しかし、実施された福祉関連の行事には社協職員と共に意欲的に参加し、皆さまと交流を深めてまいりました。また、福祉に関する新聞や雑誌にも多く触れ、学習する機会にも恵まれました。良い体験をさせていただいたと喜んでおります。

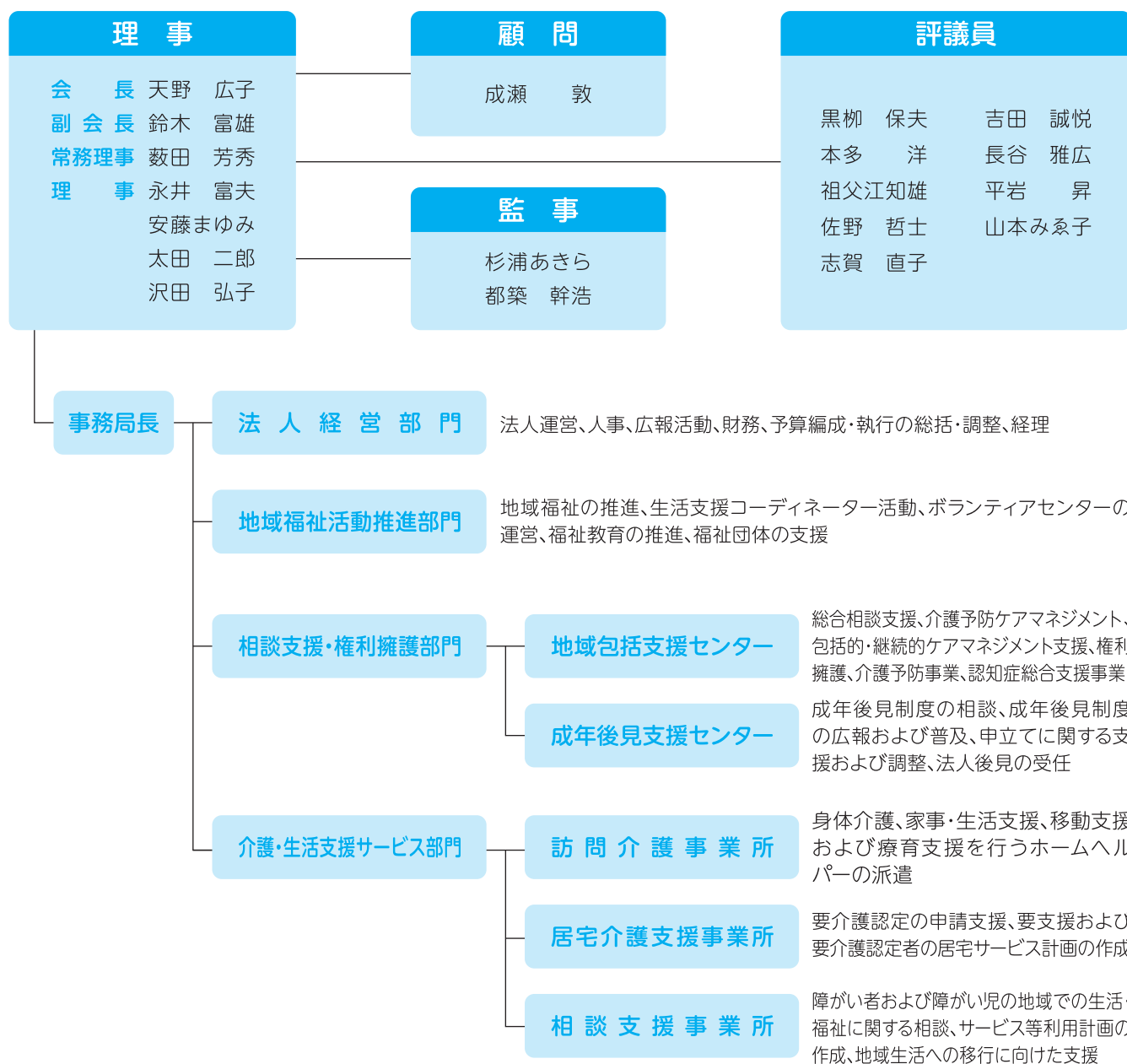
それらの体験から心に残ったことは、多くの団体で中心になられている方々は高齢にも負けず、元気で意欲的に頑張っているということでした。しかし、反面、後に続く後継者が少ないと感じました。

今後、少子高齢化の波は、避けて通ることはできません。町全体における高齢者の比率がますます増えていきます。世話をされる高齢者ではなく世話をする高齢者が増えていかななくてはなりません。私を含め65歳以上の高齢者は、そのことをしっかり認識し、後に続く人を育てていくことが大事になってきます。

若い夫婦には共働きが多くなります。日本経済を支えてもらわなくてはなりません。今まで以上に孫や地域の子どもたちを見守っていくことが高齢者の役目となるのではないのでしょうか。私も、退任を機会に健康に留意して地域のためになる努力をしていきたいと思っております。

最後になりましたが、幸田町社会福祉協議会のさらなる発展と、皆さま方のご活躍ご健勝をお祈りいたします。

幸田町社会福祉協議会組織図



令和5年度 役員会等開催報告

理事会	第1回理事会／6月8日(木)
	議事事項 令和4年度事業報告および令和4年度計算書類等の承認の件、次期役員候補者の件、定時評議員会の招集の件
評議員会	第2回理事会／6月23日(金)
	議事事項 会長副会長の選定の件、顧問の委嘱の件
監査会	定時評議員会／6月23日(金)
	議事事項 令和4年度事業報告および令和4年度計算書類等の承認の件、理事7名および監事2名の選任の件
	5月26日(金)
	監査事項 令和4年度事業報告および令和4年度計算書類等

報告および決算

イ 新型コロナウイルス感染症特例貸付
相談98件、生活福祉資金80件、たすけあい資金
0件

(5) 法律困りごと相談の実施

司法書士による法律困りごと相談29件

4 介護・生活支援サービス部門

(1) 訪問介護事業所の運営

ホームヘルパー派遣

介護保険サービス2,332回、障害福祉サービス
2,243回、移動支援102回、養育支援 0 回

(2) 居宅介護支援事業所の運営

ケアプラン作成416件

(3) 相談支援事業所の運営

ア 総合相談161件

イ 専門部会 4 回開催

ウ おとなの発達障がいZoom交流会 3 回開催

エ サービス等利用計画40件、障害児支援利用
計画63件、モニタリング284回

(4) 見守り事業の実施

見守り配食事業

利用者延べ1,881人、配食21,592食、委託事業者
4事業所

決 算

収 入

区 分	決算額	主な内容
介護保険 事業収入	53,577,298	介護報酬収入 利用者負担金収入 包括事業受託金
経常経費 補助金収入	43,110,596	町補助金 共同募金配分金
障害福祉サービス 等事業収入	18,282,559	介護給付費収入 利用者負担金収入
受託金収入	12,913,454	町受託金 県社協受託金
会費収入	3,475,500	一般会費 賛助会費 特別会費
寄附金収入	438,204	寄附金
貸付事業収入	209,000	貸付償還金
事業収入	193,450	事業参加費 日常生活自立支援事業利用料
その他の収入	104,926	福祉車両燃料費など
受取利息 配当金収入	24,669	受取利息収入
前期末支払 資金残高	19,492,881	
計	151,822,537	

支 出

区 分	決算額	主な内容
法人経営部門	31,876,154	法人運営事業 企画広報事業
地域福祉活動 推進部門	13,257,404	生活支援体制整備事業 ボランティア事業 ふれあい・いきいきサロン事業 福祉教育 福祉車両および福祉用具などの貸出 共同募金配分金事業
相談支援・ 権利擁護部門	47,983,804	地域包括支援センター事業 成年後見支援センター事業 日常生活自立支援事業 資金貸付事業
介護・生活支援 サービス部門	37,294,302	ホームヘルパー事業 居宅介護支援事業 障害相談支援事業 見守り配食事業
計	130,411,664	

※単位:円

※内部の資金移動を除く

※収支差額(21,410,873円)は次年度に繰り越す



事業報告

I 役員会等の開催状況

理事会2回、評議員会2回、監査会1回

II 令和4年度の主な取り組み

1 法人経営部門

(1) 経営基盤の確保

自主財源や公費財源を安定的に確保、財務諸表の公表

(2) 職員の資質向上

外部研修104回、内部研修15回

(3) 広報活動の推進

ア 社協広報誌「ともに生きる」を年4回発刊
イ ホームページでタイムリーな情報の発信

2 地域福祉活動推進部門

(1) 第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

基本理念の実現に向けて地域住民および関係機関等と協働

(2) 生活支援体制整備事業の受託

ア 第1層生活支援コーディネーターを配置
イ 「協議体」の設置および運営支援
ウ 福祉委員会や地域活動への継続支援

(3) ボランティアセンターの機能充実

ア ボランティア相談46回
イ 登録数 団体40団体、個人1人
ウ ボランティア講座2回開催、延べ64人参加
エ ボランティア団体活動助成金交付4団体

(4) 地域でのサロンやサークル活動への支援

23団体、延べ325回開催

(5) 福祉教育の推進

ア 社会福祉協力校の委嘱10校
イ 福祉実践教室8校、10回開催
ウ 青少年等ボランティア福祉体験学習 ※不開催

(6) 福祉6団体事務局の運営および活動支援

各種福祉団体の事務局の運営、福祉団体の自主運営化に向けた情報提供や活動内容の提案

(7) 災害に対する備え

災害時ボランティア支援本部の設置訓練およ

び実践訓練の実施

(8) 福祉車両および福祉用具などの貸出

ア 福祉車両209回、レクリエーション用具52回、災害用物品50回、福祉用具等147回
イ 福祉用具リサイクル 譲受0件 譲渡0件

(9) 赤い羽根共同募金事業の推進

福祉団体、サロン、保育所などへ活動費を助成

3 相談支援・権利擁護部門

(1) 中部地域包括支援センターの受託(担当地区：中央学区、荻谷学区)

ア 総合相談992件
イ 権利擁護業務69件
ウ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 ケアマネジャー支援128件
地域ケア会議8回開催
エ 介護予防ケアマネジメント業務2,249件
オ 一般介護予防事業
介護・健康出前講座15回開催、延べ239人参加
一般介護予防事業4講座、延べ862人参加
げんきかい60回開催、延べ683人参加
介護予防ボランティア育成講座3講座、延べ96人参加
カ 認知症総合支援事業
認知症介護家族交流会12回開催、延べ73人参加
認知症カフェ12回開催、延べ52人参加
認知症初期集中支援チーム訪問・会議20回開催

(2) 成年後見支援センターの受託

ア 相談および手続き129件
イ 広報・啓発活動1件
ウ 親族後見などへの支援3件
エ 法人後見の受任0件
オ 関係機関との連絡調整1件
カ 運営委員会など3回開催

(3) 日常生活自立支援事業の受託

契約件数 延べ13件

(4) 各種貸付の実施

ア 貸付
相談44件、生活福祉資金23件、たすけあい資金24件

「介護予防ボランティア研修会」参加者募集

介護予防に関する知識や技術を身につけ、地域のボランティアとして活動しませんか。

と き	ところ	内 容
8月30日(水) 午前10時～正午	さくら会館 研修室	テーマ 「家族介護を担う人のためのリフレッシュ講座～心と体スッキリ!～」 講 師 日本福祉大学社会福祉総合研修センター
9月13日(水) 午前10時～正午		テーマ 「家庭でできる姿勢改善講座～転ばないための体づくり～」 講 師 SUZUKI HEALTH PLANNING

対 象 町内在住または在勤で、介護予防のボランティア活動をしている人またはボランティア活動に関心のある人
定 員 各30人 *先着順 **参加費** 無料
申込み 7月18日(火)から8月18日(金)までに中部地域包括支援センター(電話62-7331)へお申し込みください。

「げんきかいサポーター養成講座」参加者募集

地域の高齢者を支えるボランティアになって活動をしませんか。

と き 8月25日(金) 午後1時30分～3時
ところ 幸田町保健センター 2階視聴覚室
内 容 げんきかいサポーターの役割と活動について学びます。
対 象 町内在住または在勤で、ボランティアに興味があり、月1回のげんきかいに参加できる人
講 師 中部地域包括支援センター職員
申込み 8月18日(金)までに中部地域包括支援センター(電話62-7331)へお申し込みください。

「出張認知症カフェ in 古民館ogi」を開催します



認知症の症状のある人が安心して参加できる場所です。お茶を飲みながら、認知症に関心のある仲間と、日ごろの不安や体験など気軽に話をして交流したり、福祉などの専門職に介護の悩みも相談することもできます。

と き 7月19日(水) 午後1時30分～3時30分
ところ 幸田町ひと・しごと交流施設古民館ogi(幸田町大字荻字西中64番地1)
内 容 ミニ講座(各30分程度)
 ①認知症ってなに?
講 師 中部地域包括支援センター職員
 ②みんなで防ごう! 高齢者の家庭内事故～転倒、窒息、溺水～
講 師 林 好江氏(まどかの郷訪問介護事業所 サービス提供責任者)
対 象 町内在住または在勤で、認知症の人または認知症の疑いのある人およびその家族、認知症について関心のある人
参加費 無料 **その他** 入退場は自由で、事前申し込みは不要です。

高齢者や介護に関する悩みや疑問などお気軽にお問い合わせください
幸田町中部地域包括支援センター 電話62-7331

お元気なシニアの「脳の健康教室」参加者募集

楽しい交流

仲間や
サポーターの皆さまと
楽しく交流

がく しゅう

楽習タイム

簡単な読み書き・計算で、脳の活性化
くもん学習療法の専用教材使用

レクリエーションなど

体操・お口の体操
回想法など

くもんの教材を使った楽習タイム、レクリエーションなどを行いながら、仲間やサポーターと交流します。皆で楽しく、脳を鍛えませんか。

- と き** 9月5日～令和6年2月20日
毎週火曜日
午前10時～11時15分(全24回)
- ところ** 高齢者生きがいセンターまたは
岩堀老人憩の家
- 対 象** 町内在住で65歳以上の人
*要介護認定を受けていない人
- 定 員** 16人 *先着順
- 参加費** 毎月2,000円
- 申込み** 7月24日(月)から中部地域包括支援
センター(電話62-7331)へお申し
込みください。

まずは無料体験会から 始めてみませんか

- と き** 8月1日(火) 午前10時～11時30分
- ところ** 中央公民館 A・Bホール
- 対 象** 町内在住または在勤で、認知症予防
に興味のある人
- 定 員** 40人 *先着順
- 講 師** ただのぶえ
武田 信恵氏
(株式会社公文教育研究会 学習療法センター)
- 参加費** 無料
- 申込み** 7月28日(金)までに中部地域包括支
援センター(電話62-7331)へお申
し込みください。

がく しゅう

楽習サポーター養成講座

この教室の運営をお手伝いして下さるボランティアスタッフ「楽習サポーター」を募集します。

- と き** 8月1日(火) 午後1時～4時30分
- ところ** 中央公民館 A・Bホール
- 内 容** 脳の健康教室楽習サポーターとして活動するために、必要な知識や技術を学びます。
- 対 象** 町内在住または在勤で、認知症予防に興味のある人
- 講 師** ただのぶえ
武田 信恵氏 (株式会社公文教育研究会 学習療法センター)
- 参加費** 無料
- 申込み** 7月28日(金)までに中部地域包括支援センター(電話62-7331)へお申し込みください。



ふれあい・いきいきサロン 活動紹介

欠間いきいきサロン

今回ご紹介するサロンは、昨年7月に開設した「欠間いきいきサロン」です。

開催は月1回で、お茶を飲みながら参加者同士の交流を楽しんでいます。また、他にも講話や椅子に座ってできる簡単な運動、ゲームなどのメニューがあります。

今回訪問した日は、中部地域包括支援センターによる福祉サービスについての説明があり、サロン実施者によるお手玉を使った手の運動、本の朗読などが行われていました。

参加者は、耳を澄まし担当者の話を聞いたり、分からないことを質問したりと和やかな雰囲気の中過ごされていました。



お手玉を使った手の運動の様子



お手玉は
サロン実施者の
手作りです

ふれあい・いきいきサロンとは…

ひとり暮らしや閉じこもりがちに暮らしている高齢者などが、地域の身近な場所に気軽に出かけて、お茶やお話、ゲームなどを楽しむことによっていきいきと元気に暮らせることを目的とする活動です。



町内のふれあい・いきいきサロン

地区名	と き	と ころ	地区名	と き	と ころ
長嶺・久保田いきいきサロン 向上の会	毎月第3金曜日 午前9時30分～11時	長嶺・久保田コミュニティホーム	里いきいきサロン ゆうゆう会	毎月第2・4水曜日 午前9時～11時	里西コミュニティホーム
大草いきいきサロン 山寺を愛する会	毎週木曜日 午前9時～10時30分	大草東コミュニティホーム	深溝いきいきサロン	毎月第2・4水曜日 午前9時～11時	逆川農村センター
大草いきいきサロン きらく会	毎月第2・4土曜日 午後1時30分～3時30分	大草西コミュニティホーム	市場いきいきサロン 市場あじさい会	毎月第3火曜日 午後1時30分～3時30分	市場公民館
高力いきいきサロン	毎月第2・4月曜日 午前9時～10時30分	高力住民広場	市場いきいきサロン 市場憩いの会	日曜主体で月3回 午後1時～4時	深溝老人憩の家
鷺田いきいきサロン 虹の会	毎月第1火曜日 午前10時～正午	鷺田公民館	市場いきいきサロン 市場モーニングサロン	毎月第4火曜日 午前10時～正午	東才組 寺西淳一宅
東部いきいきサロン	毎月第2火曜日 午前9時30分～11時30分	東部コミュニティホーム	海谷いきいきサロン 海谷かわせみの会	毎月第2・4木曜日 午前10時～11時30分	海谷公民館
岩堀いきいきサロン 岩堀サロン会	毎月第4火曜日 午後1時30分～3時	岩堀公民館	野場いきいきサロン 野場ひだまりの会	毎月第1・3月曜日 午前9時～正午	野場老人憩の家
欠間いきいきサロン	毎月第3火曜日 午後1時30分～3時30分	欠間児童館	永野いきいきサロン 永野みのり会	毎月第3土曜日 午前10時～11時30分	永野老人憩の家
横落いきいきサロン 横落福寿草の会	毎月第2・4金曜日 午後1時30分～3時30分	横落コミュニティセンター	須美いきいきサロン	毎月第2月曜日 午前9時～正午	如意寺
芦谷いきいきサロン 幸田町生活学校	毎週金曜日 午前9時～11時30分	芦谷公民館	六栗いきいきサロン 六栗の会	毎月第2月曜日 午前10時～正午	六栗公民館
里いきいきサロン	毎月第1水曜日 午前9時～11時	里中央コミュニティホーム	上六栗いきいきサロン 上六栗寿会	毎月第2水曜日 午後1時～3時30分	高齢者ふれあいプラザ

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

教えてください！！ あなたの地域のこと

見守り活動が
あると安心だね

朝、体操を
しているグループを
知ってるよ！

子どもたちの
登下校が
心配だなあ

老人クラブや
サロンの参加者が
増えるといいな

多世代で
料理教室をやっている
地区があるみたい

居場所づくりを
やってみたい

社協職員が地域づくりを応援します！

本年度から、地区ごと*に担当者(生活支援コーディネーター)を配置しています。

地区担当の生活支援コーディネーターが地域で行われているイベントや集まりなどに参加しますので、地域で話題になっていることや支え合い活動など、皆さまの暮らす地域について教えてください。より住みやすい幸田町をつくるためのアイデアや方法を皆さまと一緒に考え、サポートしていきます。

*坂崎・幸田学区、中央・荻谷学区、深溝・豊坂学区に各1人



地域で生まれる「あったらいいな」の実現を目指して、生活支援コーディネーターはこのような取り組みをしています！

みつける

地域にある活動や取り組みなどの情報収集や関係者との会議などを通じて地域の今を知り、理解を深めます。

あつまる

さまざまな立場の人が集まり、地域情報の交換や自分たちでできる活動についてアイデアを出し、話し合う場である「協議体」の運営を支援します。

つくる

住民の皆さまや関係機関とともに、地域の声に応える新たな取り組みを考えていきます。また、それらの活動や取り組みを支える担い手の発掘や養成も行います。

つたえる

皆さまに活用していただけのサービスや地域にある活動、取り組みに関する情報を発信していきます。



生活支援コーディネーターの活動や協議体について、興味のある人はお気軽にお問い合わせください。

問合せ 幸田町社会福祉協議会 電話62-7171

幸田町社会福祉協議会 嘱託員・非常勤職員の募集

	ケアマネジャー(嘱託員)	ホームヘルパー(非常勤職員)
受験資格	69歳までの人のうち、介護支援専門員の資格を有している人	介護職員初任者研修修了者相当、実務者研修修了者相当または介護福祉士の資格を有している人
採用予定人員	1人	若干人
勤務内容	居宅介護支援事業所におけるケアプラン作成業務	訪問介護事業所におけるホームヘルプ業務
勤務場所	幸田町福祉サービスセンター	利用者宅
勤務時間	月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時15分(内休憩時間60分)までの範囲内で勤務する。原則1日当たり7時間45分で、1週間当たり38時間45分とする。 *勤務日および勤務時間は応相談	午前8時30分から午後5時15分までの範囲内で月間勤務予定表で定める日
賃金	月額220,000円～260,000円 *社会福祉法人幸田町社会福祉協議会嘱託員・非常勤職員の報酬・賃金基準による。	時給1,530円～1,710円 *採用後6カ月は新人期間として 時給1,500円～1,680円
提出書類	履歴書(3カ月以内に撮影した写真を貼付、市販のもので可)、資格証明書の写し	
応募方法	随時、幸田町社会福祉協議会へ必要書類を提出してください。	
その他	・採用は、書類審査および面接により決定します。 ・提出書類(履歴書など)は、理由を問わず返却しません。	
問合せ	幸田町社会福祉協議会 電話(0564)62-7171	

ご寄付紹介 (順不同・敬称略)

R5.3.15～R5.6.12

●現金 伊澤 由紀子 50,000円 平成26年度区長OB会 13,513円 ㈱石原組従業員一同 6,000円
合同会社Fitnessこうた社員一同 4,500円 里区婦人委員 4,000円

ありがとうございました

編集・発行

社会福祉法人 幸田町社会福祉協議会

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町大字菱池字錦田82-4
電話 (0564) 62-7171 FAX (0564) 62-7254
居宅介護支援事業所 電話 (0564) 64-1069
訪問介護事業所 電話 (0564) 83-7273
中部地域包括支援センター 電話 (0564) 62-7331
メール info@kotashakyo.jp



ホームページ
<http://kotashakyo.jp/>



この広報紙は、皆さまからの会費と赤い羽根共同募金の配分金によって作成しています。